

文 献 目 録

文献調査委員会

注：○掲載順序：雑誌名・巻号・発行年月・論文名・ページ数・著者
○巻号の後の*は土木学会土木図書館備付図書であることを示す。

土木施工 13—6* 72—6

- 1 本邦最長径間に挑む北上大堰の施工 (13-22) 縄田照美
- 2 市ヶ谷駅横断地下鉄 8, 10 号線の工事計画 (23-30) 宇野浩彰
- 3 水資源開発公団室生ダムの計画と仮設工 (31-36) 新井・松岡
- 4 レジン複合体パイルの開発 (37-42) 西沢・波木
- 5 恵那山トンネルの施工 (その 5) 一飯田方の施工— (43-52) 小林・玉川
- 6 ドックのできるまで—80 万 t ドックの誕生—解説 (54-60) 岡田・森川・定森
- 7 道路交通騒音の計算法 (67-75) 田村幸久
- 8 土木技術者のための宅地造成の施工技術 (その 1) (83-89) 大庭常良
- 9 土木技術者のための地質学 (その 3) (94-100) 田中治雄
建設の機械化 267* 72—5
- 10 今後の電源開発の動向 (59-62) 合田昌満
- 11 手取川開発計画の概要 (63-66) 村上省一
- 12 奥清津揚水発電所計画の概要 (67-73) 村上省一
土木建設 21—5* 72—5
- 13 社会資本整備の長期計画と問題点 (12-14) 小林節夫
- 14 建設公害と法律問題違法性の判定の基準研究 (2) (16-23) 中村・坂井・内田・柳瀬・和泉田・新井
- 15 トラフィカビリティに関する研究 (24-29) 木村 薫
- 16 テル アルメー工法による 地質強化と 壁体造成法 (30-35) 島田俊了
土木建設 21—6* 72—6
- 17 経済の転換期と公共投資 (6-8) 谷村喜代治
- 18 東京湾及び利根川水系総合開発の構想 (9-13) 清水馨八郎
- 19 土質, 地震など (14-17) 福岡正己
- 20 本四架橋調査・その後—鳴門海上の実験— (22-30) 今中靖雄
- 21 営業直上高架工法について (31-35) 津垣昭夫
施工技術 5—6* 72—6
- 22 軟弱地盤の概念と処理工法の展望 (2-5) 村山朝郎
- 23 土質調査と調査資料の設計への適用 (6-14) 稲田倍徳
- 24 地盤改良工法選定の方法 (15-23) 森本・豊田・伊藤
- 25 サンドドレーン工法 (25-33) 前田・角・広川
- 26 ペーパードレーン工法 (34-40) 前田・広川・太田
- 27 サンドコンパクション工法 (パイプロコンポーザ工法) (41-51) 丸尾・一本・藪下
- 28 ダイレクトパワーコンパクション工法 (52-56) 松浦忠夫
- 29 バックドレーン工法 (57-62) 岡林郁夫
- 30 バイプロフローテーション工法 (63-69) 宮崎二郎
- 31 直接載荷法 (71-75) 佐藤 晋
- 32 排水載荷法 (76-80) 佐藤 晋
- 33 水平加圧工法 (81-84) 丸尾・伊藤
- 34 振動および衝撃による載荷法 (85-88) 一本・末松
- 35 ヘドロ地盤の改良工法 (165-169) 藤田・中園
- 36 海底地盤の改良工法 (170-178) 森本辰雄
- 37 軟弱地盤における近接施工 (179-187) 増田・鹿田

- 38 地盤対策の今後の展望 (188-191) 三瀬 真
- 39 鉄道-京葉線大井埠頭付近の施工 (89-96) 桑名・関山
- 40 道路-軟弱地盤上の土工施工例 (97-105) 早生隆彦
- 41 道路-東北高速道路加須地区の施工 (106-111) 平島・田村
- 42 道路橋 (112-117) 林 宣熙
- 43 港湾構造物 (118-123) 木庭宏美
- 44 人工島築造 (124-131) 前田・広川・斉藤
- 45 タング基礎 (133-138) 小川敏郎
- 46 化学のプラント基礎 (139-144) 小川敏郎
- 47 地下構造物 (145-156) 野田吉一
- 48 地下鉄-営団地下鉄 8 号線の施工 (157-164) 猪瀬・小西
コンストラクション 10—5* 72—5
- 49 トンネル掘削の機械化施工 (1-14) 川田 勇
- 50 BWE C-500 型による掘削実験 (15-22) 宇野 正
- 51 BWE, LH シリーズの大土工事への適用 (23-31) 中野文雄
- 52 日車 MX-700 型 BWE の施工実績 (32-37) 水野幹雄
- 53 IHI-BWE システムの実施例について (38-42) 古田 忠
- 54 BWE メーカー各社の動向 (43-46) 編集部
- 55 大規模埋立て工事の技術的問題点 <特に土砂採取から海岸への運搬を中心として> (47-56) 安達径治
- 56 川崎市八丁畷地区における 場所打ちくい工法の無騒音無振動対策 (57-64) 山本・鈴木
コンストラクション 10—6* 72—6
- 57 大口径掘削機の現状 (1-5) 千田昌平
- 58 最近の基礎機械について (6-16) 斉藤二郎
- 59 基礎工事の騒音と対策 (17-27) 菅野菊江
- 60 大径 P C くい最近 (51-53) 綾 竜一
- 61 最近のウェル・ケーソン工法 (54-64) 竹内純一郎
材 料 21—222* 72—3
- 62 耐熱合金における基地の強化 (159-167) 須藤 一
- 63 高温かたき試験 (168-172) 関谷・福島
- 64 Chemical Analysis of Conjugate Phases in Superalloys (173-178) Newkirk, J.B.
- 65 Reversed Creep Deformation Behavior of Metals (179-185) Morrow, J., 外 1 名
- 66 Some Physical Aspects of High-Temperature, Low-Cycle Fatigue (186-191) Coffin, Jr. L.F.
- 67 Some Problems of Strength Behavior of Low-Ductile Materials at Elevated Temperatures (192-197) Pisarenko, G.S.
- 68 18-8 系ステンレス鋼の炭化物析出と高温強度 (198-203) 田中・篠田
- 69 低合金鋼のクリープ破断強度と組織 (204-211) 行俊・西田
- 70 面心立方晶金属の高温疲労変形微視組織 (212-218) 幡中, 外
- 71 SUS 32 鋼の高温低サイクル疲労破面の走査型電顕による観察 (219-224) 金沢・吉田
- 72 高温クリープおよびその破壊におよぼす 静水圧応力の影響 (225-231) 大南・山蔭
材 料 21—223* 72—4
- 73 広い周波数域の高分子溶液の粘弾性 (253-259) 和田八三久
- 74 2 V パーメンジュール圧延板に関する研究 (260-266) 菅野・佐藤・平間・沼倉
- 75 停留き裂に関連した切欠き材の過小応力ならびにコーキング効果 (267-274) 小林・中沢
- 76 遅れ破壊に関する研究 (275-281) 宮本・江藤
- 77 繰返し荷重下における転動体の転動寿命 (282-288) 皆田日出男
- 78 材料の塑性域における応力ひずみ関係 (289-294) 若林・後藤

新しい土留工法

工学博士 藤森謙一・内田 襄編
B 5判・上製440頁・定価3,700円・〒300円

新しい軟弱地盤処理工法

工学博士 藤森謙一・内田 襄編
B 5判・460頁・定価3,700円・〒300円

土・基礎・構造物の設計・施工上の失敗例と解決方法

工学博士 村上永一編
B 5判・270頁・定価2,000円・〒300円

〈改訂版〉

新しい基礎工法の設計

工学博士 中島 武・八島 忠編
B 5判・上製421頁・定価3,000円・〒300円

新しい基礎工法のえらび方と実績

工学博士 田中倫治編
B 5判・上製373頁・定価3,200円・〒300円

近代図書株式会社

東京都千代田区富士見 1-7-12
電話03-263-3871~2 振替東京23801

東京大学教授・工学博士 福岡 正巳 編
B 5判・350頁・定価3,500円・〒300円

現場技術者のための
土圧・土留計算法と
実例

土木 雑誌 施工技術

10月号 9月20日発売 定価 260円 〒40円

〈特集〉責任施工—その現状と問題点—

施工管理の合理化と責任施工	世紀建設	大島 秀 信
品質管理の合理化	建設省土木研究所	谷 本 誠 一
施工管理委託の現状と問題点	日本道路公団	中野 達 雄
チェックリストシステムによる責任施工	東京都	窪 田 隆 行
舗装工事における責任施工の現状と問題点	日本道路公団	根 本 守
橋りょう上部工工事における責任施工の現状と問題点	日本道路公団	池 田 甫
道路維持補修工事における責任施工の現状と問題点	日本道路公団	平 川 延 一

〈主要記事〉

ネットワークテクニックの実務	久保田建設	野木 貞 夫
基礎工法の選び方	鹿島建設	島田安正ほか
積算のシステム化	阪神高速道路公団	荻野仁ほか
現場計測技術ノート	間組	藤 田 圭 一

施工管理技術の基礎知識

吉野技術士事務所 吉野次郎著
A 5判 210ページ

定価 1,200円(〒 150)

建設工事の第一線で管理監督に当る技術者を対象に、施工管理技術の基本を解説し、あわせて土木施工管理技術検定試験の出題を含めた演習問題を付して理解を助けている。

■主要目次

1. 施工管理と管理技術
2. 工程管理
3. 品質管理
4. 原価管理
5. 安全管理
6. 建設機械の運用と管理
7. 施工管理のシステム化と情報処理

日刊工業新聞社 東京都千代田区九段北 1-8-10

- 79 多結晶金属材料の応力繰返しに伴う塑性変形に関する X 線的研究 (295-301) 大南・塩沢
- 80 エポキシ樹脂の電気伝導と絶縁破壊 (302-308) 池尻忠夫
- 81 プラスチックフィルムの劣化に関する速度論的考察 (309-314) 青木・吉田・鈴木
- 82 ガラス状高分子のクレイズとぜい性破壊 (315-320) 成沢・近土
- 83 ガラス状高分子のクレイズ発生機構に関する研究 (321-329) 成沢・近土
- 84 ヘリカル巻き FW 円筒の破壊強度 (II. ねじり強度) (330-336) 山脇・植村
- 85 ヘリカル巻き FW 円筒の破壊強度 (III. 内圧強度) (337-342) 山脇・植村
- 材 料 21-224* 72-5
- 86 非線形粘弾性の構成方程式 (355-359) 山本三三三
- 87 非線形粘弾性に関する最近の実験的研究 (360-369) 倉田道夫
- 88 粉体内の圧力分布の理論 (370-372) 高見・岡
- 89 ホッパー内の粉体の圧力分布の理論 (373-375) 高見 昭
- 90 フィブリノーゲントロンピン凝固反応の動的粘弾性による研究 (376-380) 貝原・深田
- 91 ガラス短繊維充てん高分子フィルムのヤング率の異方性 (381-386) 前田・日比・清水
- 92 合成パン生地でのグリップ挙動 (387-391) 松本・神田・米沢
- 93 粘着剤のレオロジー (392-396) 鎌形・遠山
- 94 フィブリン延伸膜の圧電性, 誘電性および粘弾性 (397-400) 植田・深田
- 95 一軸延伸 PVA フィルムの力学的異方性評価 (401-404) 前田・日比・野田
- 96 芳香族ポリイミドの副分散 (405-409) 神戸・加藤・空閑・横田
- 97 油展 SBR の動的弾性率における時間-温度-濃度等価性 (410-413) 佐藤・桜井・清水・香山
- 98 油展 SBR の大変形挙動と破壊 (414-418) 佐藤, 外
- 99 ポリスチレン溶液ラテックス分散系の非線形粘弾性 (419-423) 松本・瀬川・薬科・小野木
- 100 固体押出における高分子材料の塑性変形 (424-427) 今田・高柳
- 101 熱可塑性樹脂成形材料の射出成形のときの流入過程 (428-431) 柴山忠雄
- 102 高分子物質の衝撃破壊 (432-435) 小山・和田
- 103 星形に枝分れしたポリスチレン濃厚溶液の粘弾性的性質 (436-439) 升田・太田・南出・小野木
- 104 ポリエチレン分別区分の粘性(フィリップス法スリラー重合ポリエチレン) (440-444) 佐枝・鈴木・小川
- 105 高密度ポリエチレンの溶融レオロジー (445-449) 藤山・鍵山・四方・東
- 106 分子量分布が狭い高分子流体の分子量と非ニュートン粘度の関係について (450-452) 中村・吉岡
- 107 定常状態コンプライアンスの濃度依存性 (453-458) 柴永・倉田・杉江・田村
- 108 高せん断速度領域における ポリジメチルシロキサン の分子量と粘度の関係 (459-462) 伊藤・宍戸
- 109 ポリエチレンフィルムの非線形粘弾性挙動 (463-468) 木村・山口・井町・柳川
- 110 粘土-水懸濁液の流動挙動 (469-475) 梅屋・磯田・小泉・加藤
- 111 ポリ酢酸ビニールトルエン溶液の超音波吸収と誘電分散 (476-479) 野村・加藤・宮原
- 材 料 21-225* 72-6
- 112 粉体プロセスの問題点と解決策 (496-501) 坂下 撰
- 113 相学的方法による医薬品の微粉化 (502-507) 関口慶二
- 114 二次元モデルによる粉体充てんのシミュレーション (508-511) 砂田・岡本・山本・大塚
- 115 カオリン鉱物の湿式摩砕 (512-515) 高坂・大門
- 116 ボールミル粉砕による ポリビニルピロリドンの分子量低下に対するふん囲気の影響 (516-519) 金庭・池川
- 117 摩砕された NiO および ZnO 粉末粒子の表面物性について (520-523) 貞広嘉和
- 118 放射線重合ポリエチレンの比表面積 (524-527) 須郷・武久
- 119 種々なアルコールのヘキサン溶液による親油性シリカゲルの製法とその物理化学的特性 (528-533) 宇津木・西村・加野
- 120 蒸気吸着および湿潤熱による 親油性シリカゲル表面特性の検討 (534-539) 宇津木・西村
- 121 塩化アルミニウムの気相酸素分解による アルミナ 微粒子の生成と性質 (540-543) 加藤・川添・持田
- 122 アルミナとコバルト酸化物との反応 (544-547) 仁科・米村・関根・小寺
- 123 CuFe_2O_4 の粉砕 および 加熱処理による 正方晶-立方晶転移 (548-551) 上原保彦
- 124 衝撃粉砕および静圧縮粉砕における 粒度分布と比表面積増加の変化 (552-556) 松居・関口・小峰・松崎
- 125 サリチル酸とサリチル酸ナトリウム 混合物噴霧粒体の粒子物性 (557-561) 川島・松田・安江・竹中
- 126 振動粉体層に対する微粉体の通過特性 (562-566) 荒川・西野
- 127 水平回転円筒内における粒子群の挙動について (567-571) 小川・石野・沢田
- 128 水平回転円錐型容器内粒子偏析 におよぼす 回転速度の影響 (572-576) 杉本益規
- 129 テーブル, フィーダーに関する二, 三の知見 (577-581) 増田・三浦・井伊
- 130 粉体形体の変形機構 (582-588) 梅屋・原・吉田・加藤
- 131 微粉けい酸 アルミン酸マグネシウムの 圧縮特性 (589-593) 横井・榎本
- 132 工業触媒の機械的強度 (II 酸化亜鉛-酸化クロム系触媒の押出し成形) (594-597) 小川・小寺・大場
- 133 カオリソパップ塑性粘度変動について (598-601) 棚田・榎本
- 134 微粉域の回分沈降分級における分級精度について (602-605) 三輪・日高
- 135 連続流動層から 小粒子が飛び出す場合の 粒子滞留時間について (606-606) 田中・葛西・篠原
- 136 回転炉を用いての UO_2 粉末の製造 (606-607) 小島久夫
- 137 粉体層の初期充てんについて (607-607) 神保・浅川・酒井
- 138 微粉体の充てん構 (608-608) 大塚・砂田・檀上・菱田
- 139 粉体の吸湿性と凝集性に対する粒子の表面状態の影響 (608-608) 西野・荒川
- 140 シリカ-アルミナ触媒への塩基性蒸気の吸着 (609-609) 久野・岩永
- 141 ボールミル粉砕粒度分布のマトリックス法による検討 (609-609) 神保・桜井・樋口
- 142 $\gamma\text{-Fe}_2\text{O}_3$ の転移に及ぼす機械的処理の効果 (610-610) 仙名・久野
- 143 酸化亜鉛粉体の構造に及ぼす熱処理効果 (610-610) 岩崎・松田
- 144 CaCO_3 の水-メタノール液中への分散と サスペンションの流動性 (611-611) 久野・林
- 145 X線応力測定法とその応用 (II) (612-618) 林紘三郎
- 溶接学会誌 41-3* 72-3
- 146 引張りをうける十字すみ肉溶接継手の 変形挙動と強度 (第一報) (22-34) 佐藤・瀬尾・曾根

ポゾリスコンクリートの耐久性

コンクリートの耐久性はコンクリートの諸性質上極めて重要な性質であります。凍結融解に対する耐久性、酸・アルカリ・塩類等の化学的浸蝕、摩耗及び中性化に対する抵抗力等、ポゾリスの各種類はいずれも大きな耐久性を示します。ポゾリスは、最高の均質性と作業の容易性を提供する最良のコンクリート混和剤です



セメント分散剤
ポゾリス
コンクリート減水剤

標準型 / 遅延型 / 早強型

資料贈呈いたします

ポゾリス物産株式会社

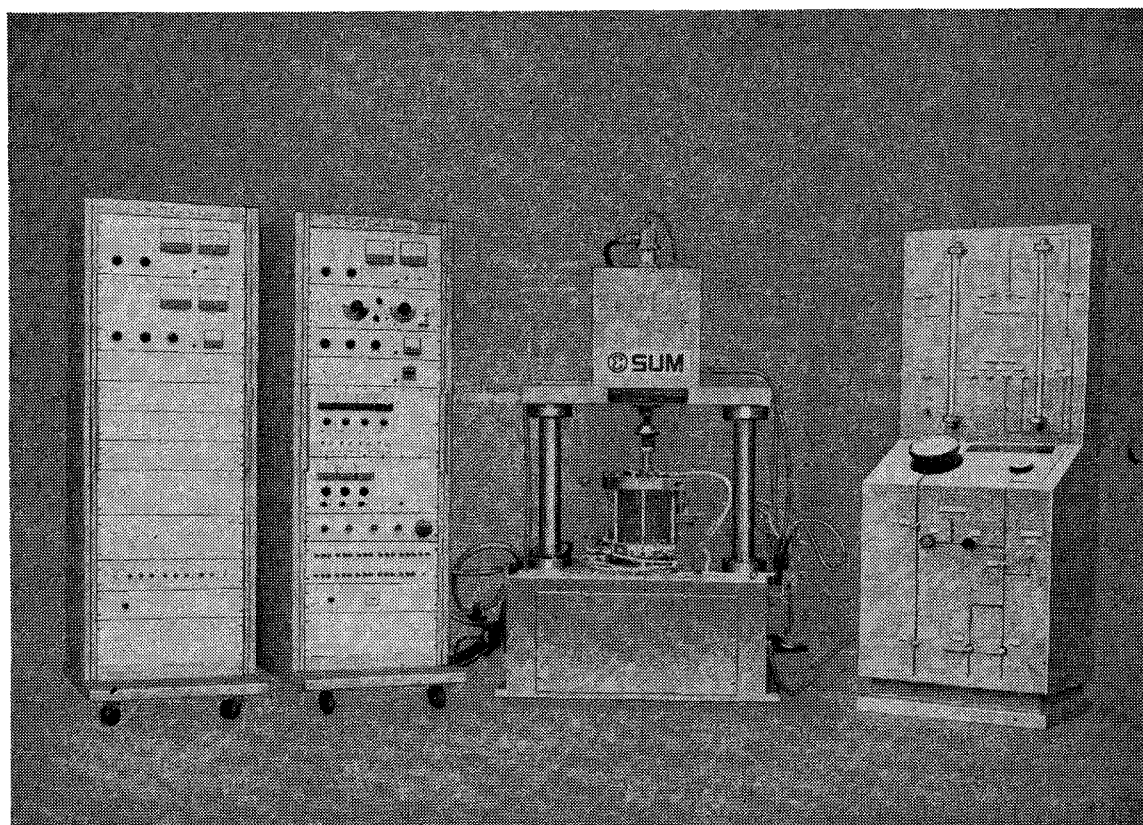
東京都港区六本木3-16-26 ☎582-8811
 大阪市東区北浜3-7(広銀ビル) ☎202-3294
 名古屋市中区新栄町1-6(朝日生命館) ☎262-3661
 仙台市東二番丁6-8(富士ビル) ☎24-1631
 広島市八丁堀12-22(築地ビル) ☎21-5571
 福岡市中央区天神1-10-17(西日本ビル) ☎75-7471
 札幌市北三条西3-1-44(札幌富士ビル) ☎251-2691
 新潟県頸城郡中郷村(日曹二本木工場) ☎025574-2511
 高岡市向野本町300(日曹高岡工場) ☎23-2001
 千葉市富士見1-2-5(アジア会館) ☎27-2411
 高松市塩土町1丁目3番6号(内場ビル) ☎82-2082

日曹マスタービルダーズ株式会社

- 147 疲れ過程における異材継手 ボンド 近傍の塑性ひずみの挙動に関する研究 (35-44) 渡辺・藤原
- 148 合成樹脂による鋼材の疲れ強さ改善の原因について (45-52) 益本・江原
- 149 大出力炭酸ガスレーザの熱源的な研究 (第四報) (53-63) 荒田・宮本
- 150 オーステナイト・ステンレス 鋼の疲れ強さにおよぼす雰囲気およびエポキシ樹脂被膜影響 (64-69) 益本・江原
- 151 鋼溶接金属の窒素含量におよぼす合金元素の影響 (第一報) (70-83) 小林・桑名・木口
- 152 極低炭素溶接金属におよぼす合金元素の影響 (第二報) (84-90) 益本・木内・尾崎
溶接学会誌 41-4* 72-4
- 153 アルミニウム合金の疲れ強さにおよぼす雰囲気およびエポキシ樹脂被膜の影響 (35-40) 益本・江原
- 154 引張りをうける十字すみ肉溶接継手の変形挙動と強度 (第2報) (41-49) 佐藤・瀬尾
- 155 二元系 $\alpha+\beta$ Ti 合金と準安定 β Ti 合金の連続冷却変態に関する研究 (50-58) 井川・森・森川
- 156 局部収縮理論にもとづくすみ肉溶接継手の強度解析 (59-70) 佐藤・瀬尾
- 157 鋼溶接金属の窒素含量におよぼす合金元素の影響 (第2報) (71-80) 小林・桑名・木口
- 158 大出力炭酸ガスレーザの熱源的な研究 (第5報) (81-91) 荒田・宮本
- 159 高周波アークに関する研究 (第1報) (92-101) 西口・黄地
- 160 爆発圧境界の波形成に関する研究 (102-111) 恩沢・石井
溶接学会誌 41-5* 72-5
- 161 Ni 基 Ni-Fe, Ni-Cr および Ni-Fe-Cr 合金溶接金属の窒素含量 (98-103) 小林・桑名・菊地・柳沢
- 162 極低炭素溶接金属におよぼす合金元素の影響 (第3報) (104-111) 益本・木内・尾崎
- 163 大脚長すみ肉溶接部に発生する ラメラティアリング について (112-120) 西尾・山本・梶本・広実
- 164 AISI 304, 316 オーステナイト系ステンレス 鋼溶接継手のクリーブ破断性質 (121-126) 岡根・大寿美
溶接学会誌 41-6* 72-6
- 165 アーク溶接の自動制御 (17-52) 荒田・井上
- 166 アルミニウムのガス・メタル・アーク溶接におよぼす電極線の合金元素の影響 (53-66) 小林・桑名・小山
- 167 爆接オーステナイト系 ステンレスグラッドの加熱に関する冶金的研究 (67-78) 立川・小田
- 168 拘束継手における溶接割れの研究 (79-90) 明石・夏目
- 169 高窒素 18Cr-10Mn ステンレス鋼の溶接性について (91-98) 沢入・田中
- 170 高張力鋼溶接ボンド脆性破壊の防止に関する研究 (第1報) (99-103) 佐藤・中杉
- 171 サブマージアーク水平すみ肉溶接のビード形状について (104-112) 坪井・坂本・美浦
- 172 Trans-Varestraint 試験法による溶接金属の凝固割れ感受性の研究 (1) (113-127) 仙田・松田・高野・渡辺・小林・松坂
測 量 22-4* 72-4
- 173 ナショナルアトラスの構成と内容 (4-9) 小林基夫
- 174 陸上における最近の重力測定 (上) (23-28) 中川一郎
- 175 三鷹菱形基線測量 (10-16) 原口 昇
- 176 パーソナルコンピューターと測量計算 (上) (17-22) 井沢信雄
橋 梁 8-2* 72-2
- 177 白川橋上部・下部工設計施工—九州自動車・植木〜熊本間 (26-31) 平野 満
- 178 九州自動車道・植木地区工事—サンドフィルター工法の報告 (32-38) 土屋忠三
- 179 矢賀高架橋の設計・施工計画—三重交差附近の構造について (47-53) 末統 蒼
- 180 大利根橋の設計・施工について—ニューマチックケーソン施工 (54-63) 広川・青島
- 181 南海橋の設計と施工 (II) 第二編・キャットウォーク (91-100) 杉山・俵矢・堂垣内
- 182 橋梁の地盤調査における物理検層の応用 (64-73) 藤原忠一
- 183 有限要素法の非構分野への応用について—空力解析— (79-83) 長野 紘
- 184 吊橋の歴史 (4) (84-90) 川田忠樹
橋 梁 8-3* 72-3
- 185 一橋梁技術者として (25-25) 西亀達夫
- 186 妙高大橋の設計と施工について—高橋脚PCブロック工法— (26-39) 岡島・内田・岩崎
- 187 二階建PCブロックについて—横浜市道高速一号線・高架橋— (40-49) 西山・柳田
- 188 西金大橋の設計と施工について—SEEE方式プレキャストブロック工法— (50-64) 萩谷・田崎・吉田
橋 梁 8-4* 72-4
- 189 本四連絡橋架橋調査からみた鉄道橋の角折れについて (26-33) 西亀・伊藤
- 190 本四架橋 (尾道〜今治ルート) におけるも 1000t 埋設アンカー築造および引張実験 (34-40) 中山・岡田
- 191 本四架橋と航行識別用燈浮標—急潮流・高波浪・深海用特殊浮標について (41-48) 柏谷昌一
- 192 海中構造物のための海底調査 (49-51) 佐藤一彦
- 193 大口径掘削機の省力化法—その開発と今後の課題について (52-60) 山本忠一
- 194 船舶と組合わせた作業台群システム (61-68) 矢村家利
- 195 海中ケーソンの位置決めについて (69-76) 平野・野村
- 196 海洋土木のための潜水技術 (77-84) 逸見隆吉
- 197 海洋調査船「わかしお」について (85-92) 藤森公彦
- 198 足摺海中展望塔の設計と施工—初の海中構造物永久アンカー基礎使用例として (93-98) 大久保・河合
河 川* 72-4
- 199 エカフェ地域の洪水被害 (6-9) 建設省河川局河川計画課
- 200 昭和 46 年—発生災害を顧みて (13-18) 高島志朗
- 201 大阪府の都市河川の実情とその課題 (19-26) 牧野, 外
- 202 宅地用開発と水 (27-30) 藤吉三郎
水 利 科 学 16-2* 72-6
- 203 市営水道企業と環境 (1-15) 竹中竜雄
- 204 水節約の技術的可能性 (3) (16-50) 島津暉之
- 205 林野火災が地表流下・浸透および土砂流出に及ぼす影響 (51-76) 村井 宏
- 206 砂レキ堆とわん曲斜め堰 (77-95) 三輪 成
- 207 乾燥地域の地下水 (2) (96-111) 牛木久雄
発 電 水 力 117* 72-3
- 208 第二鹿瀬発電所建設工事の概要 (2-11) 若松・曾根田
- 209 国土総合開発事業調整費と新全国総合開発計画の大規模開発プロジェクト (12-19) 宮沢忠雄
- 210 ダム群における洪水予測システムについて (II) (20-31) 岩田・田村
- 211 低いダムにおけるゲート流出時の流量係数 (32-66) 是枝 忍

動的三軸試験の計算制御

動的三軸試験、任意波形、任意位相、長時間の無人化、自動間歇記録、入力信号のプログラム化、出力信号の計算、及び、その出力による全体の制御が可能



サーミック動的三軸圧縮試験装置

(特許数件申請中)

新しい技術と確かな実績



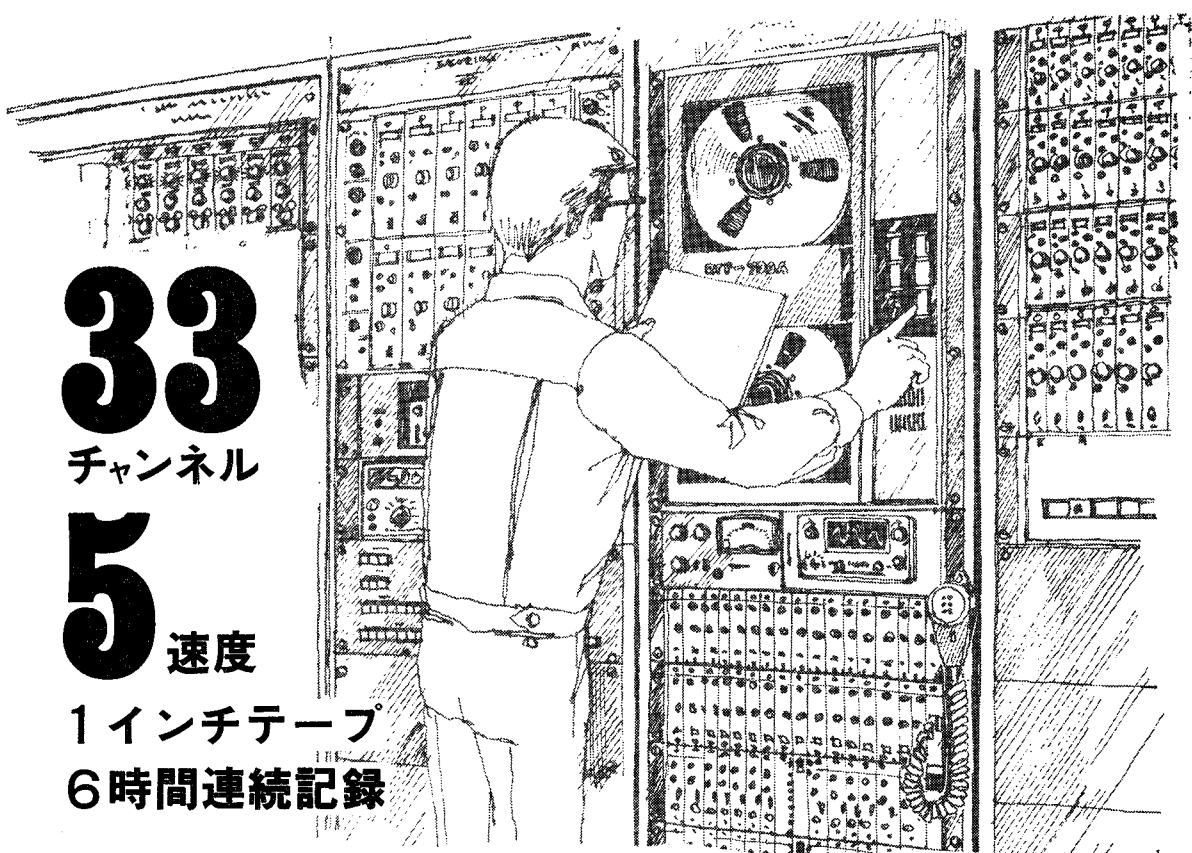
株式会社 **サム電子機械**

〒157 東京都世田谷区南烏山6丁目14-11

TEL 東京 (03) 308-0231 (代表)

カタログ請求
土木

- 212 小和瀬発電所取水隧道の薬剤による補修工事について (67-70) 秋田県企業局
大ダム 58* 71-12
- 213 国際大ダム会議第 10 回大会課題論文総括報告書—No. 36, 37, 38, 39— (1-37)
大ダム 59* 72-3
- 214 ロックフィルダムの施工について—電源開発会社の実例—主として間げき庄の実測値による解析と軟弱基礎地盤の管理基準について (1-37) 川嶋登紀衛
- 215 アースダムの施工管理について—農業用ダムの実施例— (38-64) 宇梶文雄
- 216 ロックフィルダムの変形—喜撰山ダムの例— (65-86) 大長昭雄
ダム日本 330* 72-4
- 217 早明浦ダムの基礎処理について (7-16) 湯浅 泉
- 218 水平ボーリングについて (17-25) 持田 豊
- 219 箕面川治水ダムの事業計画 (27-31) 大阪府土木部河川課
ダム日本 331* 72-5
- 220 多々良木ダムの施工について (7-17) 横田 潤
- 221 フィルダムにおける土の性質と締固め (18-29) 三木五三郎
- 222 ダム建設労働の特質 (連載第 4 回) (30-38, 42) 嶺 学
- 223 有間ダムの事業計画 (39-42) 埼玉県有間ダム事業所
- 224 事業損失について (55-62) 田辺愛孝
ダム日本 332* 72-6
- 225 白川ダムの基礎地盤について (11-23) 大石克雄
- 226 有明ダムの施工について (24-36) 斉藤和郎
- 227 大平発電所の工事計画について (37-49) 浅田良太
水門鉄管 74* 72-3
- 228 北上大堰ゲートについて (1-7) 武市英雄
- 229 昭陽江ダム取水口制水門について (8-17) 石橋和生
- 230 ARROW DAM CULVERT GATES の水理模形実験 (18-28) 上田幸彦
- 231 築地川水門 (29-35) 松山・中山
水と土 7* 71-12
- 232 大迫ダムの設計施工について (17-32) 内山則夫
- 233 深山ダムの設計と施工 (33-40) 井上幸一
- 234 日新ダムの地下しゃ水壁の施行について (41-46) 荻原成元
- 235 幌新ダムの施工と堤体安定計算について (47-54) 手島 茂
- 236 西原ダムの設計施工について (55-69) 渡部恭雄
水と土 8* 72-3
- 237 水田用自動給水弁 (流体素子利用) について (1-3) 渡辺, 外
- 238 かんがい受益地の決定と面積の分類集計について (5-21) 伊藤 光
- 239 フィルダムの安定解析 (コンピューターによる) について (23-30) 堀部孝一
- 240 吹付コンクリートライニングの設計と施工事例について (31-40) 近藤・霞・山口・杉山
- 241 頭首工の護床工に関する新しい水理設計法 (41-58) 川合・岩崎
- 242 不透水性材料により舗装された池敷の貯水による変形について (59-65) 沢田・篠
水道協会雑誌 451* 72-4
- 243 配水管網設計法に関する研究 (Ⅲ) (23-41) 高桑哲男
- 244 鉄細菌に関する研究 (Ⅷ) (42-44) 松本昌雄
- 245 地方公営企業の諸問題 (61-72) 細郷道一
- 246 East Worcester shire 水道会社の遠隔制御システム (73-76) 上田 隆
- 247 浄水場薬品類の安全な取扱い法 (76-78) 長谷川潤平
- 248 藻類による臭気物質の塩素処理 (78-81) 乙幡 恵
- 249 電気透析法で起こるコロイド状汚染を塩素処理で防止する方法 (81-82) 舟木満夫
水道協会雑誌 452* 72-5
- 250 ナショナルミニマムの確立と経営健全化の方途 (4-8) 石井猷二
- 251 技術上の提案 (9-12) 大槻 均
- 252 水道事業におけるコンピュータの利用 (13-15) 上田 隆
- 253 広域化の道標 (16-20) 山下更正
- 254 給配水管設備の維持管理のあり方 (21-27) 山本善稔
- 255 財政健全化のための考察 (28-33) 安部逸朗
下水道協会雑誌 9-94* 72-3
- 256 昭和 47 年度下水道事業予算の概要 (2-10) 玉木 勉
- 257 昭和 47 年度地方債計画について (11-15) 湯浅利夫
- 258 沈砂池の機械設備について (16-25) 浅田吉一
- 259 下水からの脱リン酸に関する基礎的研究 (1) (26-37) 長内・遠矢
- 260 廃水処理に関する文献レビュー (2) (38-59) 白石, 外
- 261 流況特性曲線図を利用したの矩形水路ならびに台形水路の決め方 (1) (60-67) 山城敏男
下水道協会誌 9-95* 74-4
- 262 基本汚水量の決定に関する一試行 (2-10) 小林敏美
- 263 廃水拡散の数値計算 (11-24) 喜納政修
- 264 有効散気管による大気泡エアレーションの効率 (25-34) 加藤・谷口
- 265 寝屋川流域 (北部) 下水道鴻池処理場の概要 (35-39) 石川・古沢
下水道協会誌 9-96* 72-5
- 266 昭和 46 年度における環境基準の水域類型の指定および排水基準の上乗せについて (2-8) 相沢則之
- 267 昭和 47 年度地方債許可方針の運用について (9-11) 湯浅利夫
- 268 エアレーションタンクと最終沈殿池を重ね合わせた 2 階式処理施設 (12-17) 松永・結城
- 269 汚濁処理吸光度法による浮遊物質濃度の迅速測定法 (18-22) 橋本・松井
- 270 脱硫酸化還元樹脂の合成と応用 (23-28) 吉田, 外
- 271 大阪府泉北下水処理場の汚泥熟処理施設概要 (29-36) 大隅・堀田・奥
工業用水 163* 72-4
- 272 クリタ清カソ剤について (3-11) 貝石真三
- 273 公害発生企業に対する工業用水の給水停止について (12-16) 田辺俊彦
- 274 手取川総合開発の概要 (17-24) 谷内勝美
- 275 石油精製業における工業用水収支調査 (25-31) 清水 固
- 276 富山県西部丘陵地すべり地帯における陸水の水質 (32-43) 高倉・木沢・藤森
- 277 泡沫分離法による界面活性物質の除去 (第一報) 非イオン界面活性剤の泡沫分離 (44-50) 和田・青木・隠田
- 278 上水, 工水汚泥の汚濁について (51-56) 福田陶三
工業用水 164* 72-5
- 279 工業再配置対策について (3-7) 長田英機
- 280 紙パルプ製造業における工業用水収支調査 (8-12) 和田・本間
- 281 上水処理を目的としたアンモニア態窒素のオゾン分解 (13-15) 池畑・清水
- 282 逆浸透圧法による下水還元に関する基礎的研究 (16-22) 石坂・鈴木・小坂・中村
- 283 埼玉県東部の深井におけるトリチウム濃度について (23-30)



33

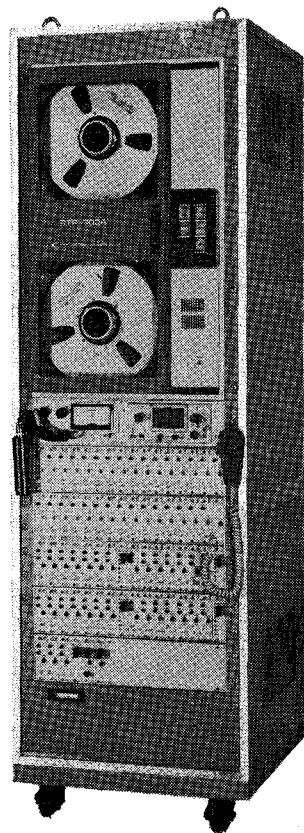
チャンネル

5

速度

1インチテープ

6時間連続記録



データコーダ RTP-700A

FM記録再生方式として初の多チャンネル化に成功

■データコーダRTP-700A は大型化、複雑化するひずみ・応力計測で得られるぼう大なデータを同時に記録・再生することができるので、測定精度の向上、測定時間の短縮、コスト低減に最適な磁気記録器です。また電算機をはじめとする各種データ処理装置に接続、計測データ処理解析システムの構成にも最適なものです。

■データコーダRTP-700A は、共和独特の技術でつくった超精密磁気ヘッド、3モータ、ダイレクトキャプスタン、クロズドループ、サーボシステムによるテープ駆動などの採用により、SN比、相互干渉などがすぐれているので、高精度の記録・再生ができ、そのうえ耐振性も充分あります。

■データコーダRTP-700A は33チャンネルの増巾器の調整をモータを内蔵したサーボガンにより自動的に調整できるので、準備調整時間は非常に短かく、取扱も簡便です。また再生時のフィルタは、動的現象の目的に応じて位相、振巾平坦どちらでも使い分けられます。

仕様

チャンネル数— データ(FM記録再生)31、
 音声メモ2
テープ速度— 76.38, 19.9, 9.5, 4.75cm/sec
記録時間— 22.5, 45, 90, 180, 360分
テープ— 巾25.4mm 長さ1100m
SN比— 49dB rms 以上
周波数特性— DC~10KHz
電源— AC100V, 6.0A

●カタログお送りいたします。
誌名記入のうえ広報課まで

記録器の専門メーカー

共和電業

本社 工場 東京都調布市調布ヶ丘3-5-1
電話 東京調布0424-83-5101

東京-(502)3551 大阪-(942)2661 名古屋-(262)2361
福岡-(41)6744 広島-(21)9536 札幌-(721)5221
水戸-(25)1074

森川六郎

用水と廃水 14-1* 72-1

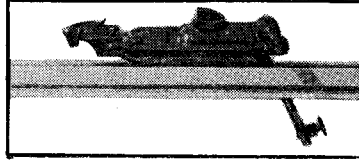
- 284 石岩ろ床による下水処理(5-17) 堀口・高橋・久我・植杉・鎌田
285 海域における廃水の希釈混合計算について—水域分割による混合モデル—(18-27) 矢野雄幸
286 漬物工場排水の処理に関する研究(39-46) 左合・中島・長田
287 各種廃油の諸性質とその処理 および 再生方法の検討(59-80) 本多・井上・近藤
288 処理場の初期運転についての考察(81-84) 諸田・松本
用水と廃水 14-2* 72-2
289 油汚染の調査法について(3-9) 小椋和子
290 各種有機物の化学構造と生物分解性(10-34) 井上善介
291 酸性廃水の中和処理に関する研究ならびに 活性化活性炭を副生する方法(45-50) 松島・安井・川副
292 吾妻川(群馬県)の藻類植生(51-55) 福島 博
293 埼玉県における河川・用水の $\text{NH}_4\text{-N}$ による水質の汚濁と都市化との関連分析(56-61) 諏訪隆之
用水と廃水 14-3* 72-3
294 日本における地下水のトリチウム(1)(3-9) 落合・川崎
295 生活系固形廃棄物の性状とその処理の考察(1)(11-17) 栗原四郎
296 し尿浄化槽清掃時汚泥とスカム・汚泥生成量(1)—清掃時汚泥とその性状—(31-38) 桜井・大野・高橋・段木
297 硫酸ピッチと無機塩類廃棄物の合併処理(41-53) 本多・山田
298 活性炭を含む沈澱汚泥の性質(54-57) 長谷川潤平
299 Azure-A 法による ABS の定量(58-62) 安達幸子
用水と廃水 14-4* 72-4
300 生活系固形廃棄物の性状とその処理の考察(2)(3-14) 栗原四郎
301 渡良瀬川の水質と付着藻類との関係(15-20) 細川久美子
302 びわ湖におけるかび臭発生に関する一考察(21-26) 喜多, 外
303 し尿浄化槽清掃時汚泥とスカム・汚泥生成量(I)—スカム, 汚泥生成量—(27-33) 桜井・大野・高橋・段木
304 傾斜板沈澱池内の濁度分布(47-50) 川田孝一
用水と廃水 14-5* 72-5
305 工場排水対策—通商産業省における 水質保全のための施策—(3-13) 佐々木定彦
306 生活系固形廃棄物の性状とその処理の考察(3)(15-33) 栗原四郎
307 浄水場試運転における水質的検討(35-40) 皆川欽一
308 鉄鋼酸洗废水処理の問題点について—その 1—(41-49) 久保雅嗣
309 余剰汚泥の処理処分法—常圧下煮沸によるコンディショニング—(67-72) 滝口 洋
310 シアンの基礎的生物試験について(73-79) 柳村・神山
311 強酸性沼, 銅沼(磐梯山)の環境と藻類(97-99) 福島・星
道 路 372* 72-2
312 沖縄の現況(2-6) 平原恒顕
313 沖縄の道路計画(7-15) 松下勝二
314 沖縄国際海洋博の構想(16-18) 中沢忠義
315 新しいバス交通システム(44-48) 新谷洋二
316 関越自動車道の計画と東京—川越間の建設工事(49-60) 早川精
317 横浜新道保土ヶ谷高架橋拡幅補強工事—実験編—(61-71) 平野・立脇
道 路 373* 72-3
318 道路橋の疲労設計(54-64) 国広・井上

319 関門橋主塔の振動実験(65-74) 榎波義幸

- 320 構造物との取付け盛土部の沈下防止対策—特にプレロード工法について—(75-80) 伊勢田哲也
321 横浜新道保土ヶ谷高架橋拡幅補強工事—施工編—(81-88) 平野・立脇
道 路 374* 72-4
322 総合交通問題(2-12)
323 コンテナ輸送の現状と将来(13-20) 光永洋一
324 フェリー輸送の現状と将来(21-27) 尾松伸正
325 本州四国連絡橋の調査と技術開発(28-42) 池田哲男
326 国道3号の二次改築計画(43-46) 安藤和人
327 道路の設置, 管理の瑕疵について(47-49) 宮繁 護
328 West Gate Bridge 落橋事故調査報告(その1)(50-59) 調査報告書抄訳グループ
道 路 375* 72-5
329 大都市圏整備と開発の方向—首都圏—(58-62) 定井喜明
330 大都市圏整備と開発の方向—近畿圏—(62-67) 清水泰吉
331 大都市圏整備と開発の方向—中部圏—(68-73) 黒田正輝
332 国道4号の二次改築計画—関東地建管内—(74-77) 布施洋一
333 国道4号の二次改築計画—東北地建管内—(77-83) 菊地新一
334 マルタを訪ねて(84-90) 松崎彬磨
道 路 376* 72-6
335 新規高速道路の現況(5-18) 高野・用害
336 都市施設整備の方向—都市計画の現況と今後の方向—(19-22) 並木昭夫
337 都市施設整備の方向—土地区画整理事業—(22-27) 中野三男
338 都市施設整備の方向—公園緑地整備—(28-32) 川名俊次
339 都市施設整備の方向—宅地開発事業—(32-38) 川上幸郎
340 都市施設整備の方向—下水道事業—(38-44) 升本達夫
341 高速自動車国道の料金制度(45-49) 浅井新一郎
道 路 建設 291* 72-4
342 改正建設業法の施工について(4-10) 吉田公三
343 首都高速道路基本問題調査会中間答申について(11-18) 首都高速道路公団
344 高速道路と経済効果—国土の有効利用へのアプローチ—(19-23) 広松照房
345 自然が生きている只見(46-52) 細川しん一
346 伊勢線の建設概要(53-55) 加藤達雄
347 神奈川県道路今昔(56-58) 山本光正
348 土佐国道工事事務所の道路整備事業(59-65) 神田一雄
349 国道136号の整備計画(66-75) 市原・上島
350 国道270号線の整備計画(76-80) 別府 卓
351 道路建設業の経営分析(3)—昭和43~45年度について—(81-91) 川上多計志
道 路 建設 292* 72-5
352 昭和47年度の道路整備事業概要(17-25) 井上 孝
353 昭和47年度の有料道路整備計画(26-31, 40) 高橋 力
354 昭和47年度の高速道路整備計画(32-35) 浅井新一郎
355 昭和47年度直轄道路事業の予算について(36-40) 菊池三男
356 昭和47年度元二級国道整備計画(41-43) 川上賢司
357 昭和47年度の地方道整備事業(44-46) 高木澄清
358 昭和47年度街路関係予算(47-51) 村山幸雄
359 阪神高速道路と今後のあり方(56-58) 北村正也
360 環境に調和した高速道路を建設(59-60) 藤田正和
道 路 建設 293* 72-6
361 昭和47年度東京都道路整備事業(6-13) 難波隼象
362 昭和47年度日本道路公団事業計画(14-20) 播磨荘一郎

トヨタ・タカギキ トヨタ・ピット・ロード

山陽新幹線のために開発されたTY 90は、トンネル内でまざまざとその実力を見せつけました。強力なタカギキ孔スピードとリモートコントロール方式の採用など、TY 90は数々の新機構を備え断然他を圧しています。青函トンネル東北、上越新幹線工事で、すでに納入決定のトヨタ・ジャンボの搭載機もTY 90ライトドリフターです。



発売元

Ⓐ 東洋タカギキ岩機販売株式会社

東京本店	東京都中央区日本橋2丁目3-6	TEL (272) 1711
大阪支店	大阪府東淀川区西宮町5-5	TEL (252) 3231
名古屋支店	名古屋市中区栄1丁目3-2 (栄ビル)	TEL (231) 7481
福岡支店	福岡市中央区東区1丁目15-15	TEL (78) 3482
札幌支店	札幌市南2条西1丁目15	TEL (241) 4451
仙台支店	仙台市青葉区下馬場52-2	TEL (82) 2251
高松支店	高松市高松町1丁目3-4-111 (中環ビル)	TEL (87) 4037
広島支店	広島市東区3丁目3-17	TEL (82) 2281

製造元 ㊦ 東洋工業株式会社

次のターゲットは東北・上越新幹線です TY 90ライトドリフター



東京

- 363 昭和 47 年度首都高速道路公団事業概要 (21-25) 首都高速道路公団広報課
- 364 昭和 47 年度阪神高速道路公団の事業概要 (26-28) 松野 章
- 365 景観道路工学について (29-32) 中原万次郎
- 366 高速道路インターチェンジ周辺の土地利用状況の変化(33-41) 橋 定昭
交通工学 7-3* 72-5
- 367 都市流入部における交通渋滞とその対策について 一名古屋大治橋におけるケース・スタディー (32-41) 本多・安藤・三星・荻野
- 368 行動分析による自動車事故防止対策の費用効果分析の方法 (42-49) 桜田一之
- 369 交通公害の実態 (3) 道路交通公害に関する環境基準および規制基準 (50-57) 森 寛昭
交通技術 323* 72-1
- 370 新幹線岡山開業に向って (10-13) 石原達也
- 371 東北・上越新幹線いよいよ着工 (14-17) 宮本 潔
- 372 保線計画—60 年—(昭和 60 年度めざす保線のビジョン) (18-21) 大月隆士
- 373 デラックス化する今後の車輛 (30-33) 酒井佐之
- 374 新国際空港線用 特 急 電 車 一 京 成 電 鉄 上 野 ~ 空 港 間 AIR-POPRT-EXPRESS— (36-39) 竹内直行
交通技術 324* 72-2
- 375 東北の港を拓く—仙台臨海工業地帯の担い手として—(28-31) 菅野 浩
- 376 臨海工業地帯と地域開発の 輸送基幹 として 一八戸臨海鉄道— (32-36) 今野正雄
交通技術 325* 72-3
- 377 コムトラック始動開始 そして“ひかり”は西へ (6-11) 田中 繁
- 378 房総特急用電車 183 系一季節波動輸送に備えて— (20-23) 粟田志朗
- 379 平塚駅ビルの計画について (32-34) 渡辺了策
交通技術 326* 72-4
- 380 東京圏・名古屋圏の高速鉄道網整備計画の答申について(10-17) 羽鳥 昌
- 381 グラフィック・ディスプレイを用いた列車ダイヤの自動作成について (26-31) 太田 勇
- 382 名古屋ターミナルビル建設計画 (32-34) 鈴木・肥後
- 383 小田急電鉄 9000 形車輛—営団地下鉄千代田線相互直通用— (35-39) 山岸庸次郎
交通技術 327* 72-5
- 384 脱線事故技術調査委員会の成果 (6-11) 馬場昭雄
- 385 武蔵野ヤードの総合自動化システム (12-15) 松田・石丸
- 386 脚光あびて登場のガスタービン動車 (16-19) 堀田公郎
- 387 セメントターミナル計画について (20-23) 好田 豊
- 388 都営地下鉄 6 号線巢鴨—三田間の建設現況 (33-36) 北本正司
- 389 工事システムの概要 (41-44) 藤田 敏
交通技術 328* 72-6
- 390 これからの大都市圏交通について (6-10) 金沢健蔵
- 391 建設すすむ横浜市地下鉄 (16-22) 安藤 栄
- 392 線路保守管理システムの動向 (38-41) 堀江和正
- 393 営業開始間近かの MARS 105 (11-13) 竹井大輔
- 394 相模鉄道新線の建設概要 (23-25) 石原 尚
J R E A 15-5* 72-6
- 395 高速鉄道の課題 (1-4) 宮地健次郎
- 396 全国新幹線網建設計画について (5-9) 富井義郎
- 397 在来線の速度向上とガスタービン動車の開発 (10-14) 石田啓介
- 398 超高速鉄道の開発 (20-24) 京谷好泰
- 399 3 新幹線開業時の輸送体系 (30-35) 金森 勝
- 400 輪軸油圧組立法 (36-39) 平原・原
- 401 特殊亜鉛メッキ鋼板を使用したバス車体 (40-43) 本多 実
鉄道土木 13-12* 72-12
- 402 寒冷地における変状トンネルの調査 (6-9) 斉藤教蔵
- 403 コンクリートの凍害 (材令 17 年を経た暴露試験結果) (11-15) 熊谷治郎
- 404 コンピュータを用いた積算 (山陽新幹線トンネル) (17-24) 山元啓三郎
- 405 青函トンネルの新しい支保工 (山陽新幹線西庄トンネル) (29-32) 伊藤・藤井
- 406 青函トンネルにおける吹付コンクリート試験 (25-28) 土屋 敬
鉄道土木 14-1* 72-1
- 407 ニュータウン建設に伴う通勤高速鉄道の考え方 (8-12) 千葉・安藤・五十嵐
- 408 超高速鉄道の開発 (13-17) 佐藤吉彦
- 409 工事におけるコンピューターの活用 (上) (19-22) 桑原・高木
- 410 軟弱地盤における連続地中壁の設計と施工計画 <国鉄と横浜市地下鉄との交差工事> (23-27) 溝畑・中条
- 411 プレキャストカンチレバー工法による加古川橋梁の施工 (上) (29-34) 佐々・岡本
- 412 橋台の設計 (1) (35-38) 下妻嘉衛
鉄道土木 14-2* 72-2
- 413 長尺水平ボーリング<青函トンネル> (6-8) 持田 豊
- 414 工事におけるコンピューターの活用 (下) (9-14) 桑原・高木
- 415 第 3 空知川橋りょうの根固め工 (15-19) 笠原・杉村
- 416 プレキャストブロックカンチレバー工法による加古川橋りょうの施工 (下) (21-26) 佐々・岡本
- 417 橋台の設計 (2) (27-30) 下妻嘉衛
鉄道土木 14-3* 72-3
- 418 水で岩を切る (6-9) 長野敏己
- 419 ケミコンパイルによる軟弱地盤改良 (11-14) 宮沢・井上
- 420 活線作業による地下駅舎の建設<京阪電鉄枚野駅> (15-19) 鈴木・飯田
- 421 電化区間のトンネル修繕<東北本線大沢田トンネル> (21-23) 佐藤 平
- 422 曲線けたの引出し架設<越中島線千葉街道架道橋> (25-29) 田辺・日野
鉄道土木 14-4* 72-4
- 423 新幹線線間の基礎工の計画と設計 (6-9) 青柳頑二
- 424 地下鉄構築物のアンダーピンニング<東京地下駅> (11-16) 村上・柴田
- 425 メッセル工法によるトンネル掘削 東海道貨物別線片倉トンネル (17-22) 石山・飯田
- 426 メッセル工法によるトンネル掘削 青函トンネル 北海道方 (23-26) 熊耳哲雄
- 427 橋梁の変状検査と補強工事<関西本線海蔵川橋りょう> (27-30) 森屋・伊藤
鉄道土木 14-5* 72-5
- 428 盛土のり面の機械化施工 (6-13) 岩崎高明
- 429 操重車 4 台同時使用によるけた架設 <中央本線水道橋架道橋> (15-22) 石倉・羽田
- 430 トンネル漏水防止の施工 <函館本線新峠下トンネル> (23-26) 高橋栄治

すべては綿密な調査から始めます。

株式会社 ショーボンドの

橋梁床版補強技術が優れているわけは、

まず綿密な調査に時間をかけるからです。

その結果、素材の撰択、工法の決定、

設計、施工とよどみなく進行します。

工法としては、縦桁増設補強工法、

鋼板接着補強工法、FRP接着補強工法、

グラウト注入補強工法などがあります。

橋梁床版の補強に関しては、

一番経験と実績を積んだショーボンドに

すべておまかせ下さい。

株式
会社
ショーボンド

本社：東京都千代田区神田小川町2の1 ☎(03) 292/1841(代)

札幌・釧路・仙台・盛岡・福島・金沢・新潟・浦和・水戸・宇都宮・前橋・東京・横浜・千葉・名古屋・静岡・三重・大阪・神戸・京都・奈良・広島・岡山・山口・高松・松山・福岡・大分・熊本
カタログ・その他資料は豊富にそろっています。本社営業本部へご請求下さい。



新しい素材と新しい工法

- 鉄道土木 14—6* 72—6
- 431 道路の災害と通行規則 (27-30) 横沢伯達
- 432 盛土の耐震工法の研究 (31-34) 室町・上沢
- 433 建造物の検査 (6) <防災管理の手法> (51-53) 浜田達幸
- 434 トンネル (上) (55-58) 峯本 守
- 鉄道線路 20—5* 72—5
- 435 新しい軌道整備基準と軌道整備標準の解説 (3-6) 椎名・寛
- 436 今後の踏切保安対策 (7-9) 山元啓太郎
- 437 小田急におけるバラストレギュレータ (10-12) 剣持・小林
- 438 狩勝実験線試験を終えて (下) (35-38) 池守昌幸
- 439 道庄バラスト細粒化対策としての緩衝パッドの効果試験(39-39) 高谷時哉
- トンネルと地下 3—3* 72—3
- 440 池袋駅の下を抜く地下鉄8号線 (7-16) 宇野浩彰
- 441 蛇紋岩トンネルの施工 国道128号線 嶺岡トンネル (17-30) 緒方・金岡
- 442 空港から41.0kmの印旛沼流域下水道 (0-56) 和田敏二
- 443 上越新幹線103kmのトンネル (43-49) 植月 躰
- 444 トンネル工事の科学的作業管理 (31-36) 大久保・安藤
- 445 青年技術者のための連載講座 (3) 鉄道トンネルのできるまで (57-63) 金原 弘
- 446 トンネルの箱持・管理と変状対策 (3) (64-70) 高橋彦治
- トンネルと地下 3—4* 72—4
- 447 最盛期を迎えた安芸トンネル (13-24) 中山 淳
- 448 横浜市地下鉄の第1期建設工事をかえりみて(30-35) 船谷, 外

- 449 中央線と外ほり下を行く水道トンネル (47-57) 細矢正弘
- トンネルと地下 3—5* 72—5
- 450 関門高速道路のトンネル (46-52) 田口・根之木
- 451 ウェルポイントによる洪積層の掘さく 六甲トンネル上ケ原 (7-16) 高山・芦田
- 452 セグメントなしのシールド工事 名古屋市排水路のプッシュロット工法 (17-24) 加藤 (幸)・加藤 (孝)・渡辺
- 453 河底横断ケーソン工事 大阪市地下鉄2号線 (25-37) 尾崎宏二
- 454 ヨーロッパの土と日本の土 (41-45) 森 麟
- 455 青年技術者のための連載講座 (5) 都市トンネルのできるまで (1) (66-72) 遠藤・三好
- 新都市 26* 72—4
- 456 島根県の長期将来ビジョンにのぞむ (2-4) 大塩洋一郎
- 457 市街化地域内の農地の宅地並み課税問題を省みて, 私はこう思う (9-14) 榎田光男
- 458 新用途地域制の指定について—東京都の場合— (15-26) 池田禎男
- 459 都市公園整備5ヶ年計画について (34-41) 大貫誠二
- 都市問題 63—6* 72—6
- 460 被保護層と都市の貧困 (3-22) 籠山 京
- 461 スラムからみた都市の貧困 (23-35) 大橋 薫
- 462 都市における最低生活とその保障 (36-49) 小沼 正
- 463 最低生活水準と都市行政 (58-58) 布施好夫

土木学会関東支部刊行物

最近の杭の話題

昭和47年2月発行 B5判 50ページ 定価 900円 千共

○鋼杭について (間組: 藤田圭一) ○場所打ち杭について (東京都: 青木重雄) ○PC杭の最近の話題 (本四公団: 吉田 巖)

最近のコンクリートの話題

昭和46年11月発行 B5判 68ページ 定価 1000円 千共

○オートクレーブ養生による超高強度コンクリートの実用について (日本コンクリート工業: 三浦一郎)

○コンクリートの早期強度をえるための各種の方法について (日本セメント: 山崎寛司) ○高速道路構造物における最近の話題—軽量コンクリートおよび樹脂の利用— (首都高速: 津野和男)

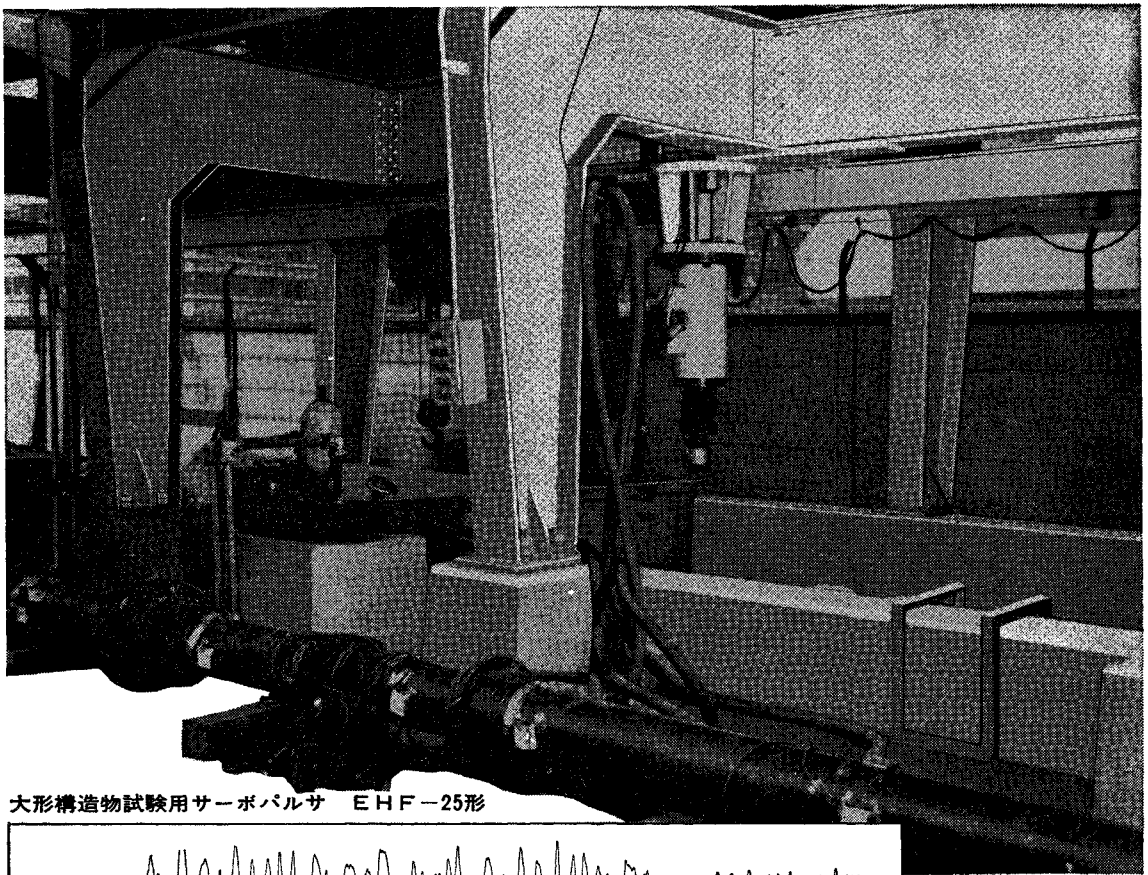
土木構造物の新しい設計法

昭和45年12月発行 B5判 350ページ 定価 3000円 千160円

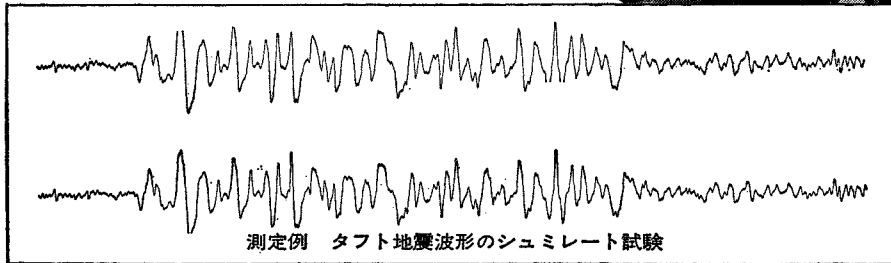
○動的解析による耐震設計 (埼玉大: 岡本舜三) ○橋梁 (国鉄構設: 田村浩一) ○フィルダムの耐震性について (東大: 田村重二郎) ○土構造の地震時挙動 (東大: 石原研而) ○有限要素法の活用について (名大: 川本眺夫) ○地盤・基礎の構造物への弾塑性有限要素法の適用—ロックフィルダム, 地下掘削, 地下構造物など— (電力中研: 林 正夫) ○振動問題における応用例 (土研: 栗林栄一) ○割れ目を有する岩盤の解析 (土研: 飯田隆一) ○土構造における応用例 (土研: 伊勢田哲也)

■代金に送料を加えて前金でお申込み下さい■

160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会関東支部
電話 東京 (03) 351-4133



大形構造物試験用サーボパルサ EHF-25形



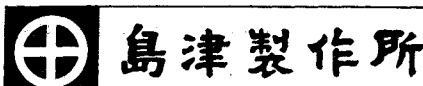
測定例 タフト地震波形のシュミレート試験

ランダム波形、実働波形を正確に再現

島津サーボパルサは、最新の電気油圧式サーボ機構、すなわち閉回路制御系を巧みに応用した振動・疲労試験機。大出力で広い周波数範囲をもち、正弦、三角、方形波のほか、最近とくに重要視されてきたランダム波、実働波による試験も容易にできます。すぐれた安定性と、高い制御精度を備えており、土木、建築、航空機、自動車、車両、船舶、原子力、電気、機械、金属、非金属工業など、あらゆる分野における新しい研究と品質管理に最適です。島津サーボパルサには、疲労試験機EHF形と振動試験機EHV形の2種類があり、それぞれの試験目的に最適の各種形式を用意しています。

電気油圧式振動疲労試験機

島津サーボパルサ



精機事業部

●カタログご請求・お問合せはもよりの営業所へ
東京 292-5511 / 大阪 373-6607 / 福岡 27-0331 / 名古屋 563-8111 / 広島 48-4311 / 京都 211-6161 / 札幌 231-8811 / 仙台 21-6231 / 神戸 331-9661 / 大分 36-4226

603 京都市北区紫野西御所田町 1 (075)431-2111


土木のあらゆる面で川鉄がお役に立っています

川鉄の建設用鋼材

H形鋼・鋼管・溶接棒・鋼管杭
・鋼管矢板・鋼管矢板井筒工法
・ライナープレート・H形鋼支



保工・コルゲートセル・コルゲ
ートパイプ・コルゲートフリ
ーム・鋼矢板・鋼製山留

 川崎製鐵株式會社

東京営業所 東京都千代田区有楽町1-11(新有楽町ビル)
電話・東京(03)212-4511 〒100

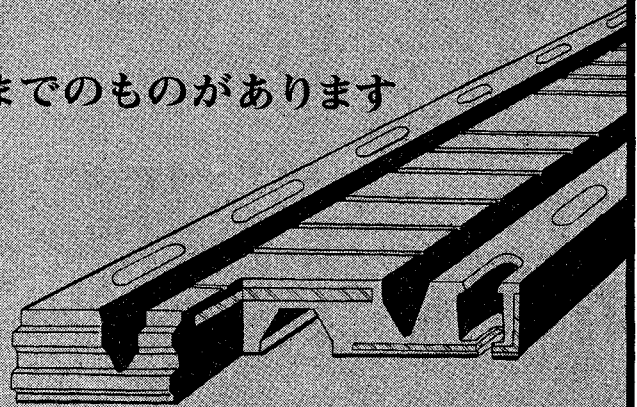
大阪営業所 大阪市北区小深町3-1(阪急ターミナルビル)
電話(案内台)大阪(06)373-6111 〒530

トランスフレックス®

橋梁・高架道路用 伸縮継手

伸縮量が大きい

最大330mm(特殊660mm)までのものがあります



超早強度無収縮ポリエステルコンクリート
スタ-コンクリートP
も製造しております。

技術に生きる

ニッタ

※資料請求は当社開発課までお申し出下さい。



新田ベルト株式会社

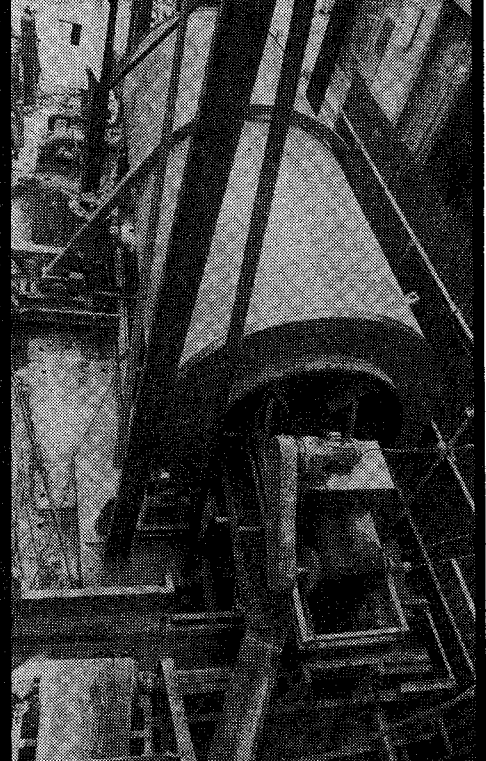
本社 〒596 大阪市浪速区久保町1-2-1
電話 大阪(06)561-0581(代表)

東京支店 (03) 572-2301 福岡営業所 (092) 65-7527
名古屋支店 (052) 586-2121 北陸出張所 (0762) 52-8908
札幌営業所 (011) 241-0858 広島サービスセンター (0822) 81-7350

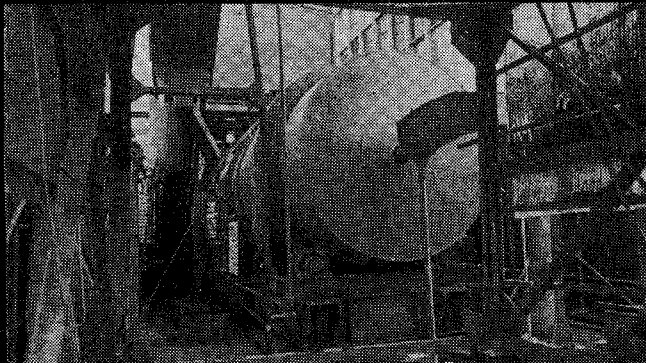
流体機械のトップメーカー〈荏原〉が開発した…



加圧送排泥設備(ポンプ台車)



RC分級機



泥水処理設備(デハイドラム)

写真は関東電気通信局の新松戸局分局工事に活躍したエハラ泥水シールド式トンネル工事設備

特許・実用新案申請中

- RC分級機・デハイドラムの使用により、他に例を見ない完全泥水処理方式で、処理水はそのまま河川などへ放流できます。
- 処理設備で分離された土砂は含水率が低いため、水がしたたることがなく、ダンプ車などで輸送できます。
- 処理設備はコンパクトにまとめられており、据付スペースは最小で済みます。
- 加圧送排泥設備は、カッター水圧室内圧力の自動制御・各種計測装置を含め、カッターと共に前進する台車上に、コンパクトにまとめられております。

エハラ

泥水シールド式トンネル工事設備



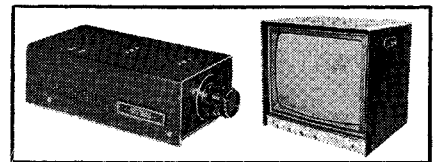
荏原製作所

本社:東京都大田区羽田旭町 741-3111
東京支社:東京都中央区銀座6丁目朝日ビル 572-5611
大阪支社:大阪市北区中之島2丁目新朝日ビル 203-5441
営業所:名古屋・福岡・札幌 出張所:仙台・広島・新潟・高松

近づけない現場にも …光る監視の眼



道路工事や地下鉄工事、ビルやダム建設など、ますます大規模化する土木工事。とくに工区の広い現場や危険区域の現場などでは、その進行状況や作業の安全を監督者がいちいち歩きまわり、すべてを把握することはできません。日立CCTV装置ならどんな大きな工事現場でも集中監視。もう監督者がわざわざ現場まで足を運ぶことなく、モニタを見ながら全工程をチェックして、迅速適確な指示をあたえることができます。危険区域の監視、作業能率の向上にお役立てください。

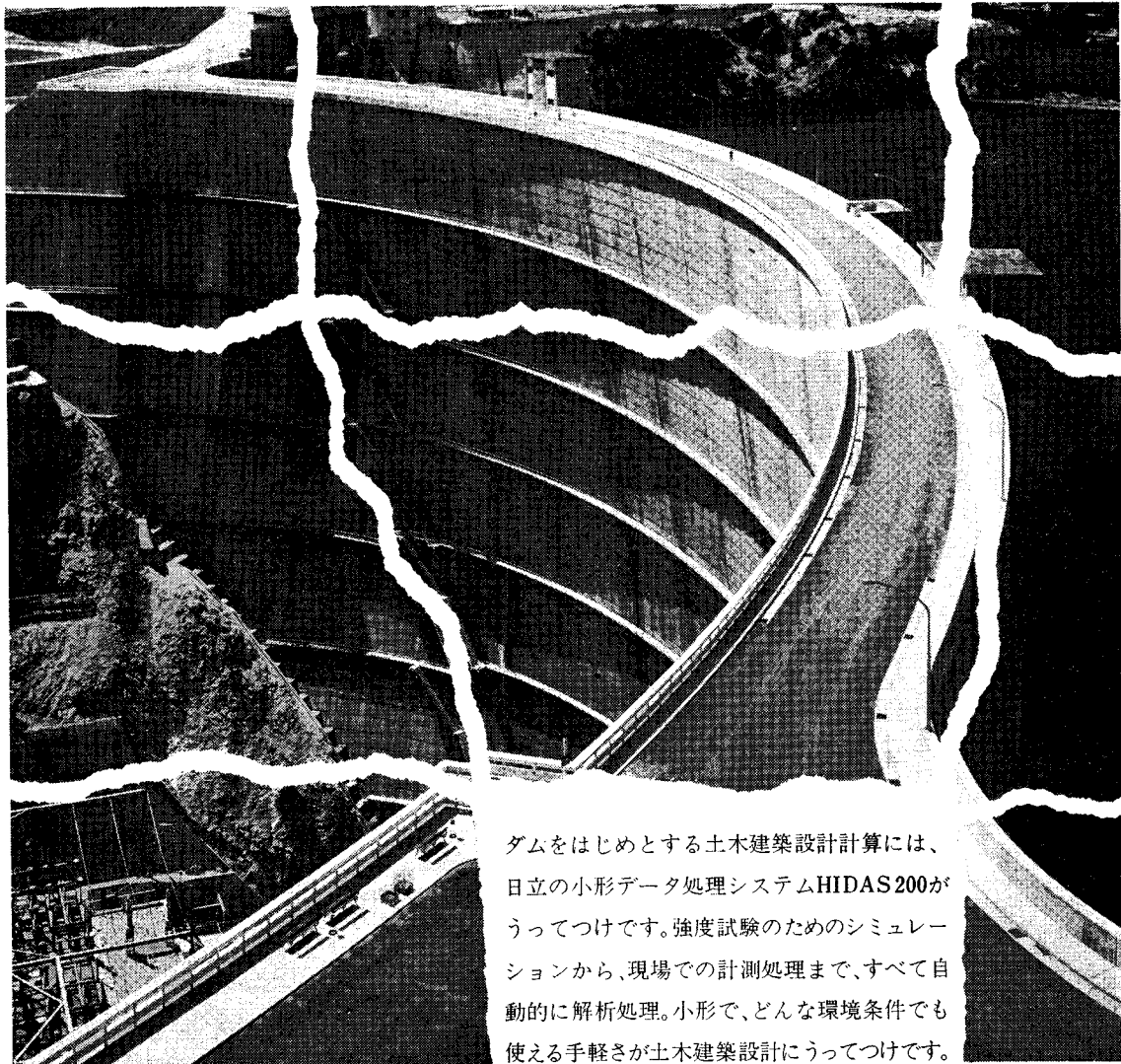


土木工事の監視に…… 安全作業に……

日立CCTV装置

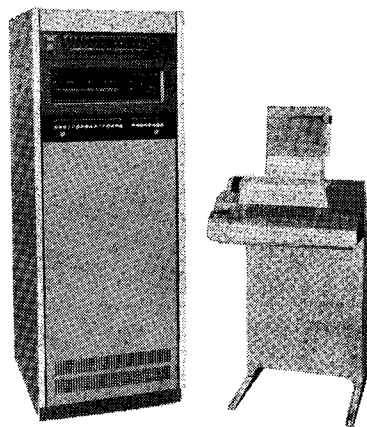
●お問い合わせ、資料請求は日立電子(株)PR部へ 東京都千代田区神田須田町1丁目23番2号(大木須田町ビル) 〒101 電話(255)8411<代>

資料請求券
CCTV
土木-9



ダムをはじめとする土木建築設計計算には、日立の小形データ処理システムHIDAS 200がうってつけです。強度試験のためのシミュレーションから、現場での計測処理まで、すべて自動的に解析処理。小形で、どんな環境条件でも使える手軽さが土木建築設計にうってつけです。

シミュレーションにうってつけの HIDAS 200



小形データ処理システム
HIDAS 200

日立製作所 日立電子株式会社

または最寄りの営業所 大阪(203)5781・福岡(74)5831・名古屋(251)3111・札幌(261)3131・仙台(66)1801・富山(25)1211・広島(21)6191・高松(31)2111

高性能、高信頼性に加え、使い易さを徹底的に追求しました

IRIG規格7チャンネルデータレコーダ

データレコーダのトップメーカー、ティアックは、ポータブルタイプから解析用まで、7チャンネルデータレコーダシリーズを完成しました。(7データ+1音声)

ポータブルタイプR-250SERIESは小型軽量の特徴を生かし、車載用として優れた耐振性(MIL規格810B-514-YおよびE-5272C-XII)をもち、苛酷な条件のもとでも常に安定した性能が得られるほか、チェック、メインテナンスの簡素化をはかり、現場における準備のわずらわしさを一掃しました。

可搬型R-510はR-250SERIESとテープの互換性があり、解析用として可能なかぎりの多種機能をもたせ、その豊富なアクセサリと共に研究室でのデータ処理にもっとも適しています。

新シリーズはティアック独自の特殊加工スリットディスクサーボコントロールにより性能は1段とアップ。

さらに、AC、DCキャリブレーション回路の内蔵、大型モニタメータ、モニタアウトとチャンネルセレクトスイッチによる入出力レベルのチェック機能、記録ON-OFFスイッチによるアフターレコーディング機能に加え、エンドレスユニット、モニタスピーカ、リモートコントロール、AC-DC電源などのアクセサリが揃い、使い易さにも十分な配慮がなされています。

また、ティアックデータ集録装置DPシリーズを加えることにより、データ処理の自動化、省力化をはかることができます。

■ポータブルデータレコーダR-250SERIES

チャンネル数 IRIG規格7データ+1音声

テープ速度 R-250 38, 19, 9.5cm/sec

R-251 19, 9.5, 4.75cm/sec

R-252 76, 38, 19cm/sec

周波数特性 R-250 DC~5kHz 50dB

R-251 DC~2.5kHz 50dB

R-252 DC~10kHz 50dB

入力 ±1~20Vp

出力 ±1~5Vp, ±20mA_p

電源 DC11~15V, 8A

■ポータブルデータレコーダ(記録専用機)R-255

チャンネル数 IRIG規格7データ+1音声

テープ速度 76, 38, 19, 9.5, 4.75cm/sec

周波数特性 DC~10kHz
50dB (R-250SERIESで再生)

入力 ±1~20Vp

電源 DC11~15V, 7A

■可搬型解析用データレコーダR-510

チャンネル数 IRIG規格7データ+1音声

テープ速度 152, 76, 38, 19, 9.5, 4.75cm/sec

周波数特性 DC~20kHz

入力 ±0.1~20Vp

出力 ±5Vp, ±10mA_p

電源 AC100, 115, 220V



●詳しい資料は営業本部情報機器2課、または各地方営業所にご請求ください。

TEAC®

ティアック株式会社

営業本部 160・東京都新宿区西新宿1-8-1
新宿ビル・電話 東京(03)343-5151(代)

名古屋営業所 TEL(052)261-9251/大阪営業所 TEL(06)649-0191
広島営業所 TEL(0822)43-3581/福岡営業所 TEL(092)43-5781
仙台営業所 TEL(0222)27-1501/札幌営業所 TEL(011)521-4560